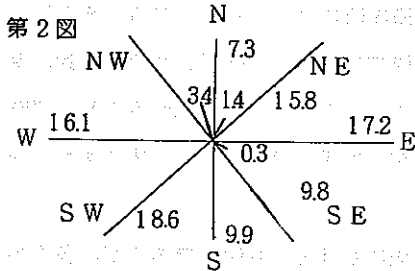


2 調査結果

(1) 気象

風向の方位別頻度分布(%)は第2図のとおりである。これで示したように南西、東、西、北東の風が多く次いで南、南東、北風が多い。冬季に吹く北東及び北の風や東、南東の風は比較的高い山を有する本部半島にさえぎられるため瀬底一本島間の海域は穏やかである。その反面島の北西、西、南西側にかけては外海に面し、解放的であるので風波をまともに受ける度合いが大きい。しかし瀬底島は四面海に囲まれているのでどの方向の風が吹いてもどこかに静穏な場所がみられる。風力も風向頻度と大体同じである。



(2) 流況

この海域の流れは潮汐流で日潮不等の1日2回潮である。那覇における潮差は約2.6mで瀬底島では那覇を基準にして潮高比0.98で潮汐は那覇と殆んど大差はない。大潮高高潮及び大潮低低潮は4月～9月は日中、10月～3月には夜間みられる。

流況は西側で大体0.2～0.4ノット、東側で0.1～0.4ノット、東側の最狭部で0.1～1ノット内外で、ここでは高低潮時に流速最強となり流向も変わりやすい。流況は第3図のとおりである。

第3図 大潮期平均流況

